



豊後大野市犬飼町の長谷地区では、地域の小学校や幼稚園が相次いで閉校、閉園となるなか、地域の課題である少子高齢化を食い止めようと、平成27年に「ながたに振興協議会」を設立し、地域振興と課題解決に取り組まれています。

平成29年からは「竹活用プロジェクト」を立ち上げ、地域の竹を活用した取組をはじめます。伐採した竹をチップにして燃料や堆肥にするほか、新たに竹パウダーを活用する「酵素風呂」を整備した結果、令和4年度実績で1,100人以上が利用するほどの人気となっているとのこと。また、この竹林を活用した地域づくり活動が評価され、令和2年度には、総務省の「ふるさとづくり大賞」で総務大臣表彰を受賞したほか、県内外から多くの視察が訪れるなど、その取組は地域の活性化に大きく寄与されています。

一方で、バスなどの地域交通の不足により、高齢となっても免許が返納できないという地域の現状や依然として被害の大きな鳥獣害対策など、行政の対応が必要となる課題についても、ご意見、ご要望をお聞きました。

中九州横断道路の整備が進めば、豊後大野市は熊本と大分を結ぶ重要な中間点となる地域であること、県としても市と協力して、今後の地域活性化を一步一步進めていくことをお伝えしました。



### 関連する県の施策

☆事業名: 持続可能な地域づくり推進事業

事業概要: 住民の希望を叶え、将来にわたり持続可能な地域づくりを実現するため、地域コミュニティ組織が行う地域課題の解決等に要する経費に対し市町村と連携して助成するほか、新たな組織の設立や再編・連携を支援

・高齢化集落等支援事業費補助金(県3/4以内、市町村1/5以上)

予算額: 1億1,447万円(うち高齢化集落等支援事業費補助金 7,800万円)

〈酵素風呂〉

ながたに振興協議会の酵素風呂は、米ぬかに長谷地区の竹、ヨモギ、湧水を混ぜて発酵させたパウダーを浴槽内に敷き詰め、砂風呂のように埋まって体を温めます。微生物が自然発酵して生まれる遠赤外線の熱により全身を優しく温め、血行を促進して発汗を促します。浴槽内は60℃以上の発酵熱を維持しているため、老廃物は分解され、常に清潔に保たれているそうです。

